

池田高3年生がカードゲームで 楽しく地球温暖化防止を学ぶ

池田高校(富永学校長、生徒66人)で11月6日、3年生25人が「家庭総合」の授業でカードゲームを活用し、地球温暖化防止への理解を深めました。

この授業は、普段行っている「買い物」が地球温暖化につながっていることを認識し、消費行動を見直す目的で実施。カードゲームは、講師の北海道地球温暖化防止活動推進員の山本健太さんが考案し、高校魅力化推進員の野武隊員がデザイン、

同校生徒がイラストを担当して制作しました。

この日、カレーを作るための買い物や場所、購入する商品や場所、価格などの違いにより、温室効果ガス排出量が変わるかをゲームで体感。山本さんは「少しでも変えるために、まずは知ってもらうきっかけになれば」と話していました。

生徒たちからは、これから実践することとして「エコバッグや水筒を使う」「食べ残さない」などの意見が出ていました。



旧利別小学校で「森と木のクリスマス」(11月29日)



オーナメント作り

池田高校で「ライフデザイン」の授業を選択する生徒らがクリスマスイベント「森と木のクリスマス」(実行委員会主催)を旧利別小学校で開催しました。

池田町の森や木の資源を活用して、町に関わる人々が楽しめるイベントを開催しようと、建設業や飲食店などの事業者の協力を得て、初めて実施。「世界一 子どもの思い出に残ってほしい 特別な一日」をテーマに、池田町の木材を使ったオーナメント作り、生徒考案のタコス販売、池高生と地域の人バンドによる演奏、木組みのミニチュア家づくり体験、宝探しゲームやビンゴ大会などが行われました。また、十勝管内の飲食業者も出店し、町内外から訪れた約500人が多彩な催しを楽しみながら、クリスマスの雰囲気を楽しみました。



木組みのミニチュア家づくり体験